



会議所ニュース

発行／網走商工会議所〒093 - 0013 網走市南 3 条西 3 丁目

TEL : (0152) 43 - 3031 FAX : (0152) 43 - 6615

URL <http://www.cci.knc.ne.jp> E-MAIL info@cci.knc.ne.jp

H24年3月1日
NO 196

新年度事業に向け各委員会が始動！



地域振興委員会の様子

当所では2月下旬より、平成24年度（次年度）の事業計画・予算の策定に向けて委員会が始動しました。委員会とは会員企業を代表し、当所の事業運営に関わり、その事業の推進役となり商工業の進展と地域社会の発展に尽力いただく役割を担う議員で組織される会で、総務財政、経営、観光、地域振興と4つの委員会で構成、それぞれ事業項目別に調査研究、企画立案を行なっています。

今後、3月27日（火）開催の通常議員総会への上程に向けて協議を重ねてまいります。

【委員会開催状況】

- ・観光委員会 平成24年2月20日（月）
- ・地域振興委員会 平成24年2月22日（水）
- ・経営委員会 平成24年2月27日（月）
- ・総務財政委員会 平成24年3月12日（月）

【各委員会の審議事項内容】

- 観光委員会（委員長 鈴木秀幸 ㈱ジラス）
 - ・観光開発と施設の整備、物産振興並びに観光客誘致促進等に関する事。 (構成議員数 17名)

内容：2月20日、当所において委員等8名が出席。地域産業に波及する観光を促進させ地域経済活性化を図る取り組みや、地域の魅力を発信する方策、各種イベントに対する支援等について協議しました。

- 地域振興委員会（委員長 篠原 肇 ㈱篠原商店）
 - ・都市問題、環境問題など産業の振興発展に関する事。 (構成議員数 17名)

内容：2月22日、当所において委員等13名が出席。一次産品（農水産品）の活用振興策の推進、中心市街地活性化対策の推進策等について協議しました。

- 経営委員会（委員長 本間弘哉 ㈱木下鉄工所）
 - ・経営の近代化、流通機構の合理化並びに金融、税制等に関する事、取引秩序の確立に関する事。 (構成議員数 16名)

内容：2月27日、当所において委員等9名が出席。小規模事業者が必要とする経営改善普及事業や創業・経営革新をはじめとする各種経営相談、従業員の労働・福利厚生等の推進等について協議しました。

- 総務財政委員会（委員長 轉石洋輔 ㈱カネカク轉石）
 - ・会議所の財政、運営に関する事。会員の拡充に関する事。 (構成議員数 10名)
- 3月12日（月）に開催を予定…

平成24年3月分の保険料(4月納付分)より健康保険の料率が変わります！

全国健康保険協会（協会けんぽ）北海道支部の保険料率が下記のとおり変更されます。

【健康保険料率】

(現行)	9.60%	→	(変更後)	10.12%
------	-------	---	-------	--------

【介護保険料率】

(現行)	1.51%	→	(変更後)	1.55%
------	-------	---	-------	-------

※40歳から64歳までの方が介護被保険者に該当健康保険料率に介護保険料率が加わります。

平成24年度 雇用保険料率が改正されます！

平成24年4月1日～平成25年3月31日までの雇用保険料率が下記のとおり改正されます。

※平成24年度 労働保険料年度更新の際にお間違えないようご注意ください。

《改定後新料率》

事業の種類	保険率	事業主負担率	被保険者負担率
一般事業	13.5/1000	8.5/1000	5/1000
農林水産業	15.5/1000	9.5/1000	6/1000
建設事業	16.5/1000	10.5/1000	6/1000

※詳しくは当所、または網走公共職業安定所まで

あばしりファン倶楽部「冬の部会」を開催 2月16日

企業や官公庁の出先機関の多い当地において、そこに勤める方々が生活を通して網走のファンになってもらうことを目的に開催している当ファン倶楽部ですが、



おーろらから流氷を眺める参加者

この度「冬の部会」を開催。

今回は網走の冬季観光の目玉である流氷観光砕氷船「おーろら」サンセットクルーズに乗船いただきました。

また、懇親会ではこの時期「旬」であるわかさぎや寒ウニを味わっていただきました。

参加者は近くで見る流氷やオジロワシの姿にとっても感激した様子で地元で取れた食材も新鮮で美味しいと終始和やかに終了することができました。

Y E G だより

Y E Gでは、2月21日、2月例会（料理教室）を開催。

札幌市で網走産食材を活用した料理を提供し活躍されているプロの料理人を招き、網走産の鱒や小麦を使ったパスタを作りメンバーで実食しました。実際に地産地消することで素材の魅力を再認識することが出来ました。



料理教室でパスタを作る様子

また、同月23日セントラルホテルにおいて道東地区協議会が開催され、日本商工会議所青年部の会長（兵頭弘章氏）を始め道東地区のY E Gメンバーも参加し「Y E Gが、その地域で求められていること」をテーマに懇談した他各地の事業について情報交換を行い親睦を深めることができました。

女性会だより

女性会では2月例会として「水谷市長との懇談会」を開催しました。

水谷市長からは網走市の新年度事業や予算概要について詳しく説明いただきました。



水谷市長が説明する様子

当会では、今回の例会を通して女性会とし

て地域活動にどのように貢献していけば良いのか再認識することができました。

元気な会員さん ときわ湯 事業主 高橋良正さん

今回、紹介する会員さんは、市内で大衆浴場として80年に渡り銭湯を営業しております「ときわ湯」さんです。



創業は昭和7年、祖父から引き継ぎ3世代に渡って営業しています。創業当時、各家庭にはまだお風呂が無い時代で、最盛期には市内に10軒以上の銭湯があったそうです。

この仕事を始めたきっかけを事業主にお聞きしたところ、先代がケガの療養のため網走に滞在していたところ、当時住んでいた家の大家さんから風呂炊きの仕事を紹介してもらったことが縁で、その経営者が銭湯を廃業するのを期に引き継ぎ現在に至るとのことでした。



番台は入りやすいよう現代風に

また、これまでの苦労についてお聞きしたところ「昭和40年にレンガ造りの煙突が急に倒れたり、3年前には火事で建物全部が消失するなどピンチの連

しかし、奇跡的に怪我人が一人も出なかったことが唯一の救いでした。」と当時を振り返っておりました。

現在は、息子さんが番台として経営を切り盛りし、自身（良正さん）は銭湯で最も重要となるお湯の管理（薪と石炭を使い風呂を沸かし、適度な温度を保つ）を行なっているそうです。

今は、各家庭に必ずお風呂が付いている時代、銭湯を必要とするお客様が激減し、とうとう市内では最後の1軒となってしまいました。

業界の先行きを案じ、何度も廃業を考えたそうですが、常連さんの「まだまだやってよ」との声に励まされ、営業を続けています。



懐かしさを感じさせるタイル

最後に「こうして今まで続けてこられたのも常連さんや支えてくれた方々のおかげ、網走から銭湯の灯りを消さぬよう可能な限り続けていきたいと思えます。たまには銭湯の雰囲気味わいに来て下さい。」と父子揃って笑顔で応えてくれました。